

◎注意事項をよくお読み下さい



りそな 経済フラッシュ

(日本5月機械受注)

2019/7/8

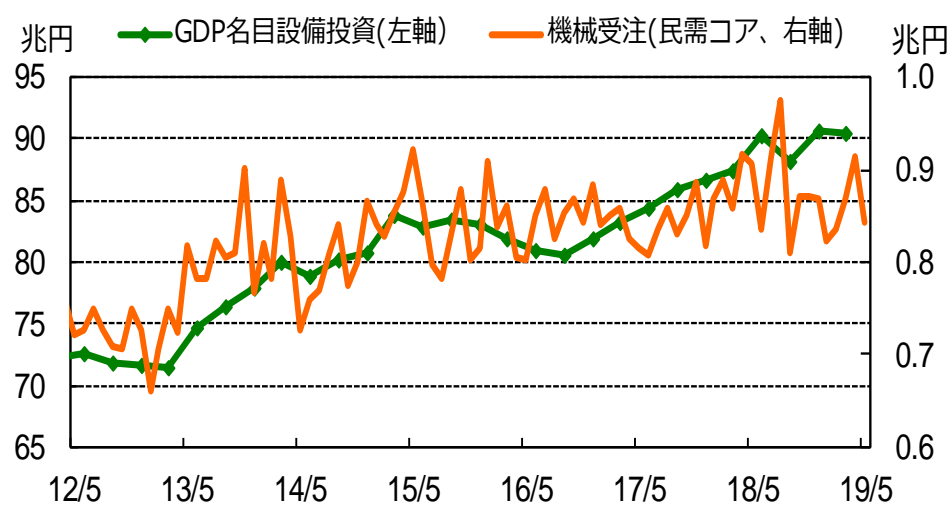
りそなホールディングス 市場企画部

〇概況

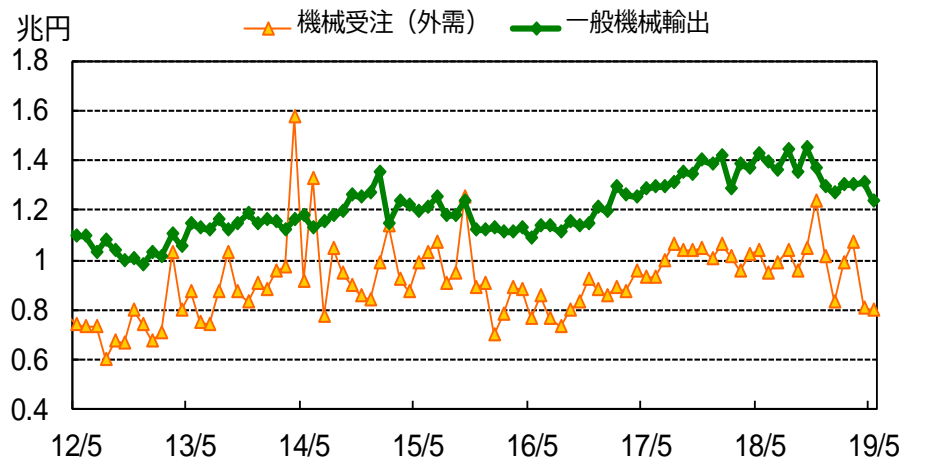
- ◆ 5月機械受注、船舶・電力を除く民需は前月比▲7.8%
- ◆ 4月が前月比+5.2%と強かったことで反動が出た可能性
- ◆ 内閣府は受注判断を「持ち直しの動きがみられる」と据え置き

- ✓ 5月の機械受注によると、船舶・電力を除く民間からの受注額（民需コア）は前月比▲7.8%の8,429億円と、市場予想（▲3.8%）を下回り4か月ぶりのマイナスとなった（4月+5.2%の9,137億円）。ただし4月の増加が大きく反動が出た可能性もあるだろう。また今年の4・5月は連休影響もあり振れやすいともいえる。
- ✓ 内閣府は受注判断を、「持ち直しの動きがみられる」と据え置き。尚、3月時点の民需コア4-6月期の受注見通しでは+15.7%と増加が見込まれている（1-3月期▲3.2%）。
- ✓ 5月の受注総額は前月比▲6.0%の2兆2,119億円（4月+4.3%の2兆3,520億円）。
- ✓ 製造業は▲7.4%の3,706億円（4月+16.3%の4,001億円）と減少。業種別では17業種中7業種が減少。造船業、金属製品、非鉄金属などが減少。
- ✓ 非製造業（船舶・電力を除く）は▲9.0%の4,710億円（4月+1.2%の5,176億円）と減少。非製造業全体の業種別では12業種中7業種が減少。不動産業、運輸業・郵便業、電力業などが減少。
- ✓ 官公需は+19.5%の3,521億円（4月+93.4%の2,946億円）と増加。地方公務、国家公務等が増加。
- ✓ 外需は▲0.8%の8,015億円（4月▲24.7%の8,083億円）と減少。船舶、電子・通信機械等が減少。
- ✓ 代理店経由は+0.4%の1,315億円（4月+4.4%の1,310億円）と増加。電子・通信機械、道路車両等が増加。

【機械受注（民需コア）とGDP名目設備投資】



【外需と一般機械輸出】



【出所】IN情報センター